|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 解答例 | | | 解説 | |
| １ | 知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  技能アイコン  技能アイコン  技能アイコン | ⑴　B  ⑵　融点  ⑶　ア  ⑷　F  ⑸　沸点  ⑹　ア  ⑺　C：エ  E：イ  G：カ | １ | ⑴⑵  ・水はが0℃，が100℃の物質である。  ・物質が状態変化しているときは，温度が変化しない。  ・－10℃の氷を加熱すると水の温度はし，0℃（B点）になると氷（固体）から水（液体）に状態が変化し始める。  ⑶⑹  ・融点や沸点の温度は物質によって一定である。  ・物質の質量を多くしたり，強く加熱したりしても，状態変化するまでの時間が変化するだけで，融点や沸点が変化することはない。  ⑷⑸　100℃（F点）に達するとが始まり，温度が変化しなくなる。  ⑺  ・A点：固体のみ。  ・B点とC点：氷がとけつつある。氷（固体）と水（液体）の2つの状態がある。  ・D点とE点：氷は完全にとけて水（液体）になっている。  ・F点とG点：水（液体）が沸騰して水蒸気（気体）が出ている。水（液体）と水蒸気（気体）の2つの状態がある。 |
| ２ | 知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン | ⑴　状態変化  ⑵　蒸留  ⑶①　液体  　②　固体  　③　気体  ⑷　水蒸気  ⑸ | ２ | ⑵　液体どうしの混合物を加熱して沸騰させると，沸点の低い液体が先に気体となって出てくる。出てきた気体を冷やして液体にして集めると，混合物から物質をできる。  ⑶  固体：はすきまなく規則正しく並んでいる。  液体：粒子は比較的自由に動くことができ，粒子のは固体より広い。  気体：粒子が空間を自由に飛び回り，粒子間の間隔は広い。  ⑷　水が沸騰して気体に変化したものを水蒸気という。  ⑸　水蒸気は目に見えない。目に見える湯気は水蒸気が冷えて液体になった水である。 |